

□新年役員会

一月十八日(日) 当寺新年役員会を開催。平成二十六年行事報告、平成二十七年行事予定等。新任役員、本郷・佐野浩氏、新栄町・山本辰巳氏、柴橋・佐久間俊則氏に委嘱状を授与。

■訃報

八幡辰三氏 逝去

二月七日 享年八十八歳

長年並槻地区の世話役員としてお務めいただきました。その功に感謝し、謹んでご冥福をお祈りいたします。

●ご案内

当寺大般若会

柴橋庵渡邊貞乘尼和尚一周忌

期日 六月十日(水)

時間 午前十時より

内容 大般若法要

柴橋庵一周忌法要

檀信徒先祖供養法要

お斎

*詳細は後日ご連絡いたします。尚、柴橋庵一周忌の御香料は必要ありません。

□副住職だより (長男孝純)

▼宗務庁の梅花流師範養成所を卒業、現在は研修員として師範としての研鑽を積んでいる。当寺の講員練習会にも指導している。三級師範を目指して勉強中。

□千眼寺だより (二男秀孝)

▼村上市平林の千眼寺では、今年六月に晋山式を挙行、併せて先代二十四世住職山本宗彦大和尚の本葬を行う。当寺二男秀孝が後継として二十五世の法灯を継承する。

□永平寺だより (三男恭真)

▼上山して一年が過ぎました。現在、修行僧の指導者である後堂老師、単頭老師のお世話をする係に配役をいただいています。乗雲P2の恭真の随筆は、永平寺機関誌「傘松」二月号に掲載されたものです。いつまでの修行か分かりませんが頑張っているようで安心しています。

■鈴木秀一老師御遷化

胎内市持倉 正統寺住職。大教師、宗務所長、宗議会議員。平成二十七年二月十一日午前零時十分、世寿八十二歳にて死去。本葬は二月十八日に営まれた。

●宗務所長退任

平成二十二年十二月より四年間、曹洞宗新潟県第四宗務所の所長を務めてまいりましたが、任期満了により退任いたしました。昨年十二月より阿賀野市草水・観音寺、稲垣智正師が就任、下越地区曹洞宗三百四十五ヶ寺の代表です。

□梅花だより

▼全国梅花流奉詠大会

日時 五月二十七日〜二十九日
会場 パシフィコ横浜

*第四宗務所は二十八日登壇奉詠奉詠曲は、
「釋尊花祭第一番御詠歌(歓喜)

▼教区特派講習会

期日 六月八日
会場 塩谷 増慶院

▼宗務所主催検定会

期日 六月二十五日
会場 新発田市金蘭荘

▼梅花(御詠歌)練習会日程表

三月 十日(火) 午後一時
三月二四日(火) 午後一時

*梅花流詠讃歌(御詠歌)を始めませんか。お釈迦さま、道元さま、瑠山さま、諸仏・諸菩薩さまを讃え、ご先祖さまを敬つてこのころを学ぶことができます。

仏事の知識

葬儀の花をいただく

式場での葬儀が多くなつた昨今終了後参列者にお花の持ち帰りを勧めるようになりました。「もらってきたがさてどこへ飾ればいいのかわからない、縁起が悪い、飾るのに抵抗がある、どうしたら良いか？」と聞かれることがあります。地方によっては「葬儀の花は持ち帰るのがあたりまえ、仏さまにお供えした花は仏さまの功德がいただける、〇〇さんを偲ぶためにいただく、長寿で亡くなった方の長寿にあずかる」として喜んで持ち帰る。など賛否があるが、どちらでも良い。「ああ今日はきれいなお花が飾られてさぞ故人も喜んでおられることだろう。故人の姿が偲ばれるお花でした」と故人を思いもたらして帰るとよい。また、お花はこの世の無常を現しています。きれいな花も何時かは枯れるときがくる。美しい花を見て、精一杯最後まで美しく生きようと思うことが大切です。